

第9回  
浅草地区まちづくりビジョン策定委員会

日時：令和7年10月10日（金）  
16:00～17:30  
場所：浅草パークホールビル3階

(案)

16時00分 開会

1 開 会

2 会長挨拶

3 議事

○事務局 次第の「3. 議事」に入る前にお断りさせていただきます。本会議は設置要綱の第8条の規定に基づきまして、会議および会議録を公開させていただきます。会議資料と議事録は内容を確認しまして、発言者のお名前を伏せさせていただきます。区で、区のホームページで後日公開させていただくことをご了承いただければと思います。

それでは、以降の議事につきましては会長、よろしくお願いいたします。

- (1) 前回委員会の議論の状況について
- (2) ビジョン策定のスケジュールについて

○会長 お手元の議事次第をご覧ください。本日は前回の委員会の議論の状況から、ビジョンのスケジュール、ビジョン本体、さらにはその先の内容をお諮りいただきたいと思います。

まず、これまでの振り返りと今後の大きなスケジュールについて、一括して事務局からご説明お願いいたします。

<事務局より資料1について説明>

○会長 全体のスケジュール感について何かご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○各委員 (特になし)

○会長 今後、説明の中で何かご意見があれば当然修正ということになるかと思っております。また、イラストについては十分に議論されていないところもあるとの説明でしたので、途中で書面開催を挟み、パブリックコメントに入るという段取りだと思っております。何かありましたら、後ほどでも結構ですのでご意見いただければと思います。それでは、内容に入ってまいりたいと思います。

(案)

### (3) ビジョンについて

#### <事務局より資料2について説明>

○会長 今回の『浅草未来図案』での「戦略的まちづくりプログラム」は、4つほどの大きなテーマに分かれており、いずれも「進行イメージ」が左側の誌面に入っています。浅草寺創建 1400 年の 2028 年頃をターゲットにした内容、そして東武浅草駅が開業し、震災復興の成果である隅田公園が開園した、震災復興 100 周年である 2030 年頃という短期の節目を意識しながら、取り組み一覧表がまとめられていますがいかがでしょうか。

○事務局 この表については、資料編の中で可能な限り公表することを考えていきたいと思っています。関係者との調整もありますので、どこまで公表するかはこれから調整します。

○会長 資料編に入れる範囲を検討される旨、承知しました。それでは、各委員からご意見をいただきたいと思います。

○委員 参考資料1で、鳥瞰イラストに描かれた要素で「耐震補強」「ドローン」というキーワードが書いてありますが、これはどういうことなのでしょう。ドローンを飛ばすことを許可するのですか。

○事務局 将来的には色々な交通モビリティが入ってくることを想定し、一つの要素として挙げさせていただいています。

○委員 浅草見番も、建て直すのか何だか知らないけど、既に工事とか始まってしまっており、何とかなってしまいますよ。

また、ビジョン p16 のコンセプト「文化を際立たせる」の中に「本物を伝える」とありますが、現状が偽物とでも言いたいのでしょうか。

○事務局 現状が偽物だから本物を伝えたい、ということではありません。より一層、浅草の価値を伝えていきたいということです。

○委員 誤解を与える表現は考え直した方がいいのではないですか。

○事務局 承知しました。検討します。

(案)

○委員 以前から申し上げていますが、ビジョン p28 のパースについて。正月には雷門前が歩行者天国となりますが、だからといって参拝客が分散するわけではなく、並ぶ人が多くなっているだけです。正月三が日でなければ関係ないとお考えかもしれませんが、仮に道路をつぶしたとしても雷門前に人が溜まるだけだと思います。現状がそうなっているのだから、そういう点を考察したうえで提案をされているのか、前から不審に思っています。

○会長 参考資料1 (パースの描画要素の説明資料) はどう取り扱うのでしょうか。

○事務局 取扱いについてはまだ十分に検討できていませんが、仮に載せる場合は資料編での取り扱いになると思います。

○会長 ビジョンの p7・8 にあるパースと対になっているということでしょうか。これだけ見ると分からないので確認してみました。

雷門前の道路の取扱いについて何かあるでしょうか。今は歩道と車道を切り離して運用しているため、道路の使い方次第で、今後変わってくるところかと思えます。

○委員 今浅草で一番ひどいと思っているのは東武浅草駅です。草加市や春日部市まで行く際によく使用していますが、観光地と言いながら、あれではみっともない。今の技術があれば明日にでもできるようなものが、この絵の中で表現されていません。駅舎はどうにかしてほしいです。週1回通っていますが、本当にどうにかしてほしいです。

それから観光バスの駐車場について。雷門通りのいきなりステーキの前に停まり、多くのお客が降りてきます。昔は盛り場でしたが、現在は観光地になったのでバスの対策が必要になります。個人的に、東武浅草駅と観光バスが一番問題だと思います。

六区ブロードウェイが良くなってきており、何かができるのは賛成ですが、イベントするにしても紙芝居するにしても、警察からはガードマンを付けろと言われます。しかし、ガードマンを付けるとなると費用的に開催できません。にぎわいや煩雑さがあるのが盛り場なのであって、そういう課題も現実としてあります。大きな構想は別にして、まず感じるのはそこです。

○会長 駅の話はプログラムの中にも入っていますが、区の方から何か説明あ

(案)

りますでしょうか。

○事務局 戦略的まちづくりプログラム 2 の p30 で、未来のまちのイメージを描いています。来年以降、関係者とどうしていくかを協議していきます。今回のビジョンの中でも目玉だと認識していますので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。観光バスの対策についてもおっしゃる通りだと思っており、区の方でも課題として把握しています。

○会長 区の方から将来の話が出たので、先に次の資料の内容を説明いただければと思います。ビジョンに関する意見も、その内容と併せてご意見をいただければと思います。

#### (4) ビジョン・プログラムの推進に向けた協議会等の設立について

##### <事務局より資料3について説明>

○会長 この策定委員会は、これまで挙げたご意見を踏まえ、パブリックコメントを経て、『浅草未来図案』を取りまとめられれば役割を終えますが、その先は、プログラムを動かしていく中心人物を決め、どんなことをやっていくかを具体的に考えていただき、全体像をまちづくり連絡調整会議に諮る、という段取りを検討しています。4つのプログラムごとに、組織を整えて議論したいと思いません。

先ほどの東武浅草駅の話はプログラム 2 にあたりますが、さまざまな関係者が関わることになるので、そのメンバーで具体的にどういうことができるかを議論いただく仕組みだと理解しました。

今の内容も含めて、ご意見をいただければと思います。

○委員 会長は駐車場の専門家だったかと思います。現状の雷門地下駐車場は、会長から見てどう思いますか。理想論としてどうすべきかお聞きしたいです。具体的に1本に絞ってしっかりやらないといけないのではないのでしょうか。現状はさておき、駐車場はどうあるべきか、というご提案していただける機会があればと思います。他の先生たちも、それぞれの専門から見て「私ならこうだ」というご意見もいただきたいです。せっかく集まっていたいただいているのにもったいないと思います。

○委員 ビジョンは非常によくまとまりつつあると、改めて感じています。これ

(案)

から作っていくところについては今後、具体化していくわけですが、気になるのが、住む人・商売する人・にぎわう人という色々な方がいるのが浅草の特徴である中で、住む目線からするとマンションが建て替わりつつあります。このビジョンで描いているような未来の浅草ができてくるときに、作り方によってはマイナス要因になるようなものに関して、規制をかけるようにすることが重要だと思います。仮に建てるとしたら、このビジョンに描かれているように、浅草に貢献できるようなルールを作っていくことが重要だと思っており、その部分の記述が弱いと感じました。

○委員 ビジョンの方は、色んなご意見が出て、色んな議論をしてきました。取り組みの時間軸が長いことから、ソフト・ハードのハードの部分がしっかりしてこないといけません。最低限のハードとしては、2047年に向けて考えていかねばならないものが書かれています。そこに対して各まちづくりの活動をどう見込んでいくか、についてはまだ書ききれていないように思いますが、それは各プログラムの中で推進していくことだと思うのでその点を忘れないようにしてほしいと思います。

観光・交通が専門である立場として問題意識に思うのが、東京周辺で再開発が派手に動いている中で、浅草で同じことをしてもしょうがないと思いつつ、費用がかなりかかるため、そこをどうファイナンスしていくかが重要です。単に高層ビルが建ってしまうようでは、浅草としてはどうなのかという話があります。そうならないための工夫として、水辺空間やスーパー堤防、ビジョンの p30 に描かれている駅の話があります。それから、ビジョンの p7・8 のパースを見たときに、地下空間に関する要素が書き込まれていませんが、p30 のパースをよく見ると下の方に描き込まれています。先ほど、バスや駐車場の問題の話があったが、雷門前の道路（並木通り）は出入りの管理が難しく、専用にしてしまうと入らせ方を改めて考えなければいけなくなります。出入口を付け替える余地があるのか、p30 のような地下空間が出来たときに、駐車場やバスターミナルを地下に埋め込めるのか、地下鉄も走っている中でどういうことができるのか、というところをプログラム 2 で検討していくことになると思います。関係者が多いため協議が難しいとは思いますが、その部分で私自身も貢献したいと思っています。

また観光について、インバウンド来訪者は今年 4,000 万人近くまで到達すると思われていますが、一方で日本政府としては 2030 年の目標として「6,000 万人」としています。東京や大阪の空港でこれ以上の受け入れはかなり難しく、ホテルも足りません。達成するとなると、地方に外国人観光客がかなり行くこととなります。外国人が増えるにしても、東京は少し増えるぐらいだと思っています。

今日ここに来る前、この辺りを少し歩いて回ってきましたが日本語がほとん

(案)

ど聞こえてきませんでした。そのような状況のため、どこに行っても外国の方だけ、という状態はなかなか制御が難しいですが、現状人が固まってしまっているエリアを分散させていかないと、なかなか、ビジョンのこのような絵にならないと思います。雷門前だけに集中しないように、新たな地域の魅力づくりを進めていくことで、p28のような絵が実現できていくと思います。この空間を歩行者専用として空間の受け皿を作る一方で、ソフトの取り組みを合わせていかないとこういった姿にはならないので、空間をつくるが長い間滞留させない工夫と、奥浅草も含め周辺エリアで受け止める工夫を、同時に考えていくことが必要になるかと、専門家としては思っています。

○委員 ビジョンはだいぶ良くなってきたと感じています。専門家の目線からコメントを、とのことでしたので、少しお話させていただきます。

公共空間のデザイン、歩行者中心のまちづくりを専門としていますが、その観点で言うと、プログラムの中でも「人中心の空間創出」と掲げられており、それはどんどん進めていくべきと思います。

一方、ビジョンが出来た後にフォローアップの協議会をつくるといった話もありましたが、プログラム2のみ関係者がずらっと並んでいて、プログラム1・3・4番ではほとんど空欄になっているのは問題だと思っています。専門としている歩行空間の話で言うと、道路は当然行政の持ち物であるので、台東区が中心になる部分もありますが、街路は「空間」なんですよね。つまり、道だけではなく沿道に建っている建物や、その建物が繋がることで出来る商店街の組合など、色々な関係者が関わってくるはずですよ。例えば、現在まちづくりで関わっている渋谷だと、バス事業者や警察等も「オール渋谷」として取り組む協議会が立ち上がっています。浅草でもそういった体制をつくっていかないと物事が進んでいかないのではないのでしょうか。

ビジョンは10~20年先の絵を描いたものになりますが、絵に描いた餅にならないようにするためには、アクションが大事になります。アクションを起こそうとすると時間がかかってしまいますし、そもそも起こせない可能性もあります。まずは素早く軽くできるアクションから実施し、段々とステップアップしていくと良いと思います。まずは施策をつくって検証し、それをフィードバックしてと、どんどん積み重ねることでクオリティが上がっていくと思うので、そういった歩行者空間づくりをしていく必要があるのでは、と思いました。

また、デザインの専門的観点から言うと、駅舎建替えもただ建物だけを考えるのではなく、周辺道路や水辺空間との接続も考えているとのことなので、色々な関係者が関わってきます。そうすると、縦割りを超えて一体的な空間をデザインする「トータルデザイン」の視点が非常に重要で、色々なもののデザインが相乗

(案)

効果を生むような、デザインマネジメントという横軸のマネジメント体制を今後作っていく必要があるのではないかと思います。

○委員 防災の観点からお話します。防災についてはビジョンで大きく描かれていませんが、私自身、「防災もまちづくり」と提唱しており、防災だけ取り組むのではなく、「防災も観光も浅草の未来も一緒に考えている」という思想が非常に重要なので、防災が特出しされていなくてもさほど問題はないと思います。

一方で、A3 の取り組み一覧表の内容を見てみると、帰宅困難者問題など防災の標準的なことが多く書かれています。浅草の街は標準的なまちではなく、かなり特殊なので、防災についても確実に特殊なことをやっていくべきだと思います。

ハードに関しては、まちが大きく変わる中で、災害に備えた安全装置が自然な形で埋め込まれ、災害時に「こんな役割があったのか」と驚かすものがあると良いと思います。ソフトについては、まちぐるみで安心のおもてなしができる状態をつくり、「皆さん安心していらしてください」といえる取り組みをまちぐるみでやるべきだと思います

このまちは外国人が多く日本語が聞こえてきませんが、多くがこの辺のホテルに泊まっていると思われるので、そういう方へのおもてなしとして、ホテルまでご案内できるような状態を、まちの仕組みとしてつくっていくことも大事だと思います。

先ほど歩いていたら「侍忍者ミュージアム」という場所を発見しました。安直だなど思いながらここまで来ましたが、例えばそこで江戸火消し体験をして、実際に災害が起こった際に服を貸して消してもらおうといった、観光+防災の取り組みを考えてみると面白いかなと思いました。

○会長 駐車場で問題になっているのは、特にまちの中心部になりますが、ここまで車社会が進む前には駐車場がなかったので路上に止めており、道路が非常に混んでいたため、昭和 32 年に法律ができ、商業施設や事務所には自分の敷地内に駐車場を設置するようという「附置義務」が課されました。結果的に駐車場は増えましたが、東京は公共交通が便利なのでそちらを使用するということもあり、そういった駐車場が余りつつあります。東京駅には行幸通りがあり、結婚式の前撮りなども行われていますが、少し前には地下駐車場の出入口があり、他に何もないので人が行く気にもならなかった場所でした。両側のビルを建てる際、地下駐車場を繋ぐことで非常に効率的になり、駐車場の出入口をコントロールできるようになりました。これはかなり効果的で、丸の内の仲通りには一切駐車場の出入口がありません。駐車場に関しては多くのまちで、余り気味の駐車場をどうするかという問題があります。

(案)

高層マンションの場合、これまで荷捌きの駐車場があまりありませんでした。アマゾンや楽天などの荷物が毎日のように届くのに、車が停められず、マンションではない場所で混んでいるといったことも起きています。つまり、物流関係の駐車場は不足しているというのが実態としてある状態です。

観光バス駐車場もまだ弱いですが、浅草ではかなり工夫されています。まちなかのどこか 1ヶ所で降ろすとその周りにしか人が集まらないので、あちこちで人を降ろしている取り組みは、他のまちでは参考になると思います。まちを広く使っていただくための駐車場と観光バスの取り扱い方は何かありそうだと思います。

自分自身が問題に思っているのは地下街で、とても危ないと思っています。古いため、あれを何とかしたいと思っています。これに近いことをやった渋谷は少し綺麗になりました。建替え等のときに少し手を入れてほしいと思います。海外の方がたくさんいらっしゃる中、地震が起きたら大パニックになります。浅草は外国人が多いということを前提とした防災避難や案内の取り組みが必要で、そこで重要なのが地下街だと思います。

これからの議論として、浅草の観光ブームがいつまで続くかわかりません。『ロンリープラネット』という、日本でいう「地球の歩き方」的な観光ブックがあるのですが、10年前と今とでは書き方が違っていています。東京の観光案内を見ても、浅草寺はあっても浅草という記載は入っていません。新宿で言えば唯一、ゴールデン街は入っています。渋谷や東京国立博物館などがじわじわ上がってきています。今お越しになっている方たちは初めて日本に来た方が多いのは事実ですが、だんだん状況が変わってくるので、何回も来てもらおうとなると、他のまちと連携してルートに入れてもらったり、船を使って築地まで行ったりなどといったパッケージを上手く作ってもらわないと変わらないと思います。色々「やろう」という流れになっているのが大事になってきて、変わっていかないとまちが陳腐になっていきます。それぞれの地域で同じである必要はなく、浅草は浅草らしく。「浅草ルール」という言葉が一時期挙がりましたが、観光客であっても浅草ルールは守るように、という方法もあるかと思います。建て替える際もご近所で「どう建て替えるのか」「どんなデザインにするのか」という点も話し合っ、ルールがあればさらにいい街に変わっていく可能性がある気がします。これからも色々変化はあると思いますが、浅草未来図案をきっかけに、色々なことを考えていってほしいです。

浅草に人を集めているのは鉄道です。これはとても珍しいことで、他のまちでは見られないことです。それは東京が誇るべきことであり、駅をしっかりと魅力的につくり、まちとの関係をうまくつくることはとても大事になってきます。虎ノ門ヒルズ駅は、地下鉄の駅がビルの中から見えるようになっています。ビルの

(案)

中にアトリウムという大きな空間を作っていただいてそこを広場化し、エスカレーターを使って外へ出られるようになっていきます。一番驚くのは防災施設です。普通は鉄道駅の防災施設と建物は別で管理しますが、電車を見せたかったのでメトロの防災施設と建物の防災施設を一体化させたので、個別に管理するよりも安全になりました。手を繋ぐと色々な事が変えられます。それによって歩きやすいまちが生まれていきます。ルールがないと止めようがないのであったほうがいいと思います。

今、浅草は波に乗っていて心配ないと思いますが、長く人を受け入れていくためには、今ある資源をどう生かすか、というところが大事だと思います。

○委員 現在の駅ビルは1931年に建てられ、94年が経ちました。先日庇が落下した事故がありましたが、庇だけ若干後付けとなっており、老朽化していたとのことでした。他の庇は落ちないことを確認済みです。そうはいつても94年経ったビルであり、色々やりたいことはありますが、周辺を道路に囲まれた敷地であり鉄道駅も入っていることから、抜本的な建て替えが難しい状態ではありますが、こういったまちづくりと共に動いていくことであれば、ぜひ協力していきたいと思っています。

○会長 いまのビジョンについても、気になった点があれば事務局にご意見をいただければと思います。最後、パブリックコメントにかける前に皆様のご意見も勘案しながらとりまとめていただくということでご理解いただきたいと思います。

○委員 先ほど話に挙げた渋谷では、どこが先導してまちづくりを先導しているのでしょうか。

○委員 具体的に言うと神南・宇田川と呼ばれているところである。公園通りという通りが神南と宇田川の間を通っているのですが、商店街の振興組合が事務局になり、周りを巻き込みながらオール渋谷を作っていて、そこに区も入ってきています。

○委員 ということは、我々が頑張らなくてはいけないということですね。これからの浅草の若い人たちに頑張っていたかかないといけない。20年前のまちづくりビジョンの会議にも参加させていただいたが、その時私は若手でした。若い人たちがまちづくりに関わってもらわないと困ると、前回のビジョンの冊子を見返すと、全く進んでいないのは東武の松屋周辺の部分です。地権者が多く大

(案)

変だとは思いますが。あと、地下鉄との連携と、防災栈橋（隅田川の活用）の話もあります。民間に渡さないままで何も進められなかった点は、台東区にもっと頑張ってもらいたいと思っています。

個人として、会長がおっしゃったように、日本で一番古い地下街が非常に危険です。落ちてしまったら大変なことになります。使われていないけど通っている通路もあると聞いています。台東区が持っている建物として雷門地区センターがありますが、3階建てで70坪あります。ここを第2浅草文化観光センターというサテライトとして活用してほしいです。浅草はトイレがひどいため、私たちの協議会ではトイレ・喫煙所部会を作っていますが、そこをもっと活用したいです。前回の大改修から25年経っており、この20年間の中にやれそうなこととして入れてほしいと事務局に尋ねましたが、具体的な名称として掲げて入れられないようでした。まちづくり連絡調整会議で色々な方に声をかけていただき、区も私たちも、そして若い人も巻き込んで頑張っていかなければならないと思います。

○会長 取り組み一覧表には「先導者」の欄に皆様のお名前も入っていますので、頑張ってもらいたいと思います。

○委員 雷門の地下駐車場は、東京メトロに抜けられる道があったのではないかと記憶しています。ビジョンで示す理想はわかりますが、できることを具体的にやっていただかないといけない。一番は浅草駅を何とかしてほしいです。

○会長 新宿には、小田急と京王モールの駐車場がありました。2つを1つにできないか、という話になりましたが、つくるタイミングが違ったためできませんでした。ただ、柱の位置と床の高さを揃えてほしいと指導した結果、このたび、その壁を取り払って1つにできることになりました。そういった準備がなされているかもしれないので、確認できると良いのではないかと思います。

○委員 浅草は京都と同じと思っています。東西南北に見るべきものがたくさんあります。私自身は浅草生まれですが、ここで仕事をするようになったときに、よその盛り場もたくさん見てきた中で、浅草は人の力を使っていないように思いました。かなりの人に来てお金が落ちるので、浅草の住民は暮らしが楽なのかと思っていましたが。もう少し上からの目線で見れば、浅草は北に行けば北千住、東に行けばスカイツリー、西に行けば上野、南に行けば浅草橋があります。みんな鉄道が絡んでいます。浅草は山手線の接続を断ったぐらい意地が固いところでありましたが、今反省してもそれでは間に合いません。台東区に何と

(案)

かしろと言っているのではなく、「ここにどうやってお金を持ってくるべきか」を若い人に考えてほしいと思います。

昔、松屋で、各大学が「浅草を中心に開発したビルをつくる」という課題を展示されていたので見に行ってみました。明治大学の提案がすばらしかったのを覚えています。地下3階から10～11階で、3階か4階まではすべて交通機関で、こういうことをしなくてはだめなんだと感じました。幾ばくも無くなったときに大きな壁が動かせないのであれば、他の人の力を借りて浅草を大きくしていくのは難しいと思っています。自分たちでどう工夫して大きな資本を呼び込むかが必要で、そうでないと起爆剤にならないような気がします。

○会長 ぜひ、今後の浅草に向かって、若手にも頑張ってくださいませう。

(5) その他

※特になし

#### 4 閉会

○事務局 本日はお忙しい中ご参加いただきまして、また長時間にわたり貴重な意見をいただき誠にありがとうございます。次回の策定委員会は書面開催を予定しています。詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。

以上をもちまして第9回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

17時30分 閉会